

## 第7回『太田原豊一賞』贈呈式・記念講演会を開催しました



【 日 時 】 2026年05月30日(土) 16:00～17:30

【 場 所 】 熊本城ホールシビックホール

【参加人数】 59名

### 【 概 要 】

本賞は、感染症領域および血液領域において顕著な功績を挙げられ、今後も研究の進展に貢献が期待される研究者を顕彰するものです。

第7回は、大阪大学微生物病研究所の飯田 哲也 先生および山本 雅裕 先生の2名が受賞されました。贈呈式では、賞状、正賞トロフィー、副賞1000万円が贈られ、受賞者による記念講演が行われました。

【配布資料】 次頁以降に掲載

---

---

第 7 回

# 太田原豊一賞

贈呈式・記念講演会

---

---

2026年5月30日（土）午後4時

熊本城ホール シビックホール

## — 式 次 第 —

| 時 刻   | 内 容       | 登 壇                            |
|-------|-----------|--------------------------------|
| 16:00 | 開 会 の 辞   | 一般財団法人化学及血清療法研究所<br>理事長 馬場 秀夫  |
| 16:05 | 来 賓 祝 辞   | 熊本県知事 木村 敬 様                   |
| 16:15 | 選考結果報告    | 顕彰選考委員長 宮坂 昌之 様                |
| 16:20 | 贈 呈       |                                |
| 16:30 | 記 念 講 演 ① | 大阪大学微生物病研究所<br>所長 飯田 哲也 様      |
| 17:00 | 記 念 講 演 ② | 大阪大学微生物病研究所<br>教授 山本 雅裕 様      |
| 17:30 | 閉 会 の 辞   | 一般財団法人化学及血清療法研究所<br>事業局長 尾本 裕昭 |

## — 太 田 原 豊 一 賞 について —

### 趣 旨

本賞は、感染症領域および血液領域を中心に顕著な功績を上げた研究者を顕彰する制度として、2019年に創設されました。当財団の創業者である太田原豊一の名を冠し、「広く公衆衛生の進歩を図り、兼ねて自然科学の昂揚に資する」という財団の使命を体現する事業の一環として取り組んでいます。

### 内 容

賞：トロフィー並びに副賞 1,000 万円

件数：2 件程度

### 対 象 者

感染症領域及び血液領域を研究対象とし、

大きな成果のあった研究者で、

今後も感染症領域及び血液領域の研究の進展に貢献が期待される研究者を顕彰します。



化血研初代所長  
太田原豊一

熊本医科大学 微生物学教室  
第2代教授(1924-1947)  
学長 (1947)

## — 受賞者紹介 —



### 飯田 哲也

いいたてつや

大阪大学微生物病研究所 所長・細菌感染分野 教授

#### 受賞研究テーマ 腸炎ビブリオの病原性発現機構に関する研究

飯田先生は、ビブリオ属細菌のゲノムと病原性に関する先駆的研究を展開されてきました。腸炎ビブリオのゲノムが2つの環状染色体から構成されることを世界で初めて明らかにし、細菌ゲノムは1個の環状染色体から成るという従来の常識を覆すパラダイムシフトをもたらしました。全ゲノム配列決定を世界に先駆けて報告し、3型分泌装置の病原性への関与を実証するとともに関連分子群のほぼ全容を解明。次世代シーケンサーを用いたメタゲノム解析による病原体検出法の開発など、感染症学・細菌学分野に多大な貢献をされています。

#### ご 略 歴

|        |                             |
|--------|-----------------------------|
| 1984年  | 京都大学理学部 卒業                  |
| 1991年  | 大阪大学大学院医学系研究科博士課程修了 医学博士 取得 |
| 1992年～ | 大阪大学微生物病研究所 助手、助教授          |
| 2015年～ | 同研究所 細菌感染分野 教授              |
| 2024年～ | 日本細菌学会 理事長                  |
| 2025年～ | 大阪大学微生物病研究所 所長              |

**主な受賞歴** 日本感染症学会 北里柴三郎記念学術奨励賞（1997）  
日本細菌学会 小林六造記念賞（2003）  
第62回野口英世記念医学賞（2019）

## — 受賞者紹介 —



### 山本 雅裕

やまもと まさひろ

大阪大学微生物病研究所 感染病態分野 教授

#### 受賞研究テーマ 宿主-病原体・腫瘍相互作用の免疫学的解明と革新的解析技術の開発

山本先生は、細胞内寄生原虫トキソプラズマを対象とした宿主免疫応答の研究から出発し、近年は抗腫瘍防御機構へと研究を発展させてこられました。インターフェロン誘導性 GTPase 群がトキソプラズマ寄生胞膜を破壊する分子メカニズムの解明は「オートファジー必須分子の非オートファジー免疫機能」という常識を覆す大ブレークスルーとなりました。宿主の免疫応答と病原体の免疫回避機構の双方を深く理解する「二刀流」研究者として国際的に高く評価されるとともに、in vivo CRISPR screen 法・VeDTR マウスシステム・POPSICLE など革新的な解析技術を次々と開発し、感染症学・腫瘍免疫学分野の発展を牽引されています。

#### ご 略 歴

|         |                                 |
|---------|---------------------------------|
| 2001 年  | 東京大学理学部 卒業                      |
| 2006 年  | 大阪大学大学院医学系研究科博士課程修了 医学博士 取得     |
| 2006 年～ | 大阪大学大学院医学系研究科 免疫制御学分野 助手、助教、准教授 |
| 2012 年  | 大阪大学大学院医学系研究科 感染病態分野 独立准教授      |
| 2013 年～ | 大阪大学微生物病研究所 感染病態分野 教授           |
| 2018 年  | 大阪大学荣誉教授の称号を付与                  |

**主な受賞歴** 第 2 回日本医療研究開発大賞 AMED 理事長賞 (2018)  
独立行政法人日本学術振興会 第 15 回日本学術興会賞 (2019)  
日本寄生虫学会 第 67 回小泉賞 (2020)  
日本微生物学連盟 野本賞 (2020)  
公益財団法人黒住医学研究振興財団 第 58 回小島三郎記念文化賞 (2022)  
日本免疫学会 第 28 回 日本免疫学会賞 (2025)